

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 岡崎 小学校
作成日	平成 26年 2月 26日

1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成
育てたい子ども像「思いやりのある子、考える子、さきに行動する子、きたえる子」

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	児童・保護者・教職員と地域の関係団体と連携して児童の育成をはかることは最良の目標だと思います。	道徳教育等を通じ心身的に成長するよう目的にする事は良い事です。	わかる授業、楽しい授業だけでは、学力は余り向上しないのではないのでしょうか。もう少し踏み込んで学力を伸ばすよう目標の設定してはどうですか。
取組の状況に対する意見	授業参観を通じ児童の様子を保護者・関係団体に知らせる事が良いと思います。学校としての教育目標等を保護者に知ってもらう事が良い。 地域団体と連携し子ども達に色々な体験をさせてあげられる事ができて良かったと思います。	保護者との意見交換の場を広げ、子ども達のみならず保護者の心も豊かにできるよう取り組んでほしい。 道徳教育が充実していても頭の中では理解できていても行動に出せない事が残念です。 学校の先生は一人一人の子どもをよく見てくれている。	取り組みとしては、もう少し充実した設定が必要ではないでしょうか。 一人一人の理解スピードが違い、学習タイムを利用する事により少しでも遅れを取り戻せると聞きました。
検証結果に対する意見	一時、挨拶をする子どもが少なくなったという意見もあったようですが、挨拶してくれる子どもも多くいます。	最良の結果が出ているかどうかわからないが最善をつくしてほしい。	ある程度の学力等はできていると思います。
改善方法に向けての意見	学校と保護者が協力して学校の教育目標にむけ教育活動を行ってほしい。 保護者の協力が必要なことは、訴えていく必要がある。	物事を知る楽しみ、物を作る楽しみ等、様々な取組を行い、明るく健全な子ども達の育成を目標にしてほしい。 実践に結びつく道徳教育になるように改善して行ってほしい。	子どもの能力を引き出すには、ほめる事が効果的だと思います。学校教育では、難しいと思いますが、取り組んでも良いのではないかと。 教師一人一人の授業力向上に一層取り組んでもらいたい。

3 其他のご意見

子ども達が社会的ルールを学ぶのは、6歳～12歳（小学校時）において形成される時期だと聞いています。この時期に集団活動を通して、「ゆたかな心」「確かな学力」を学びます。子ども達の心身をより一層豊かになるよう学校で教育してほしいです。